

世界遺産と基地のまちに「軍民分離原則」を

07年無防備署名は宇治から 宇治市 奥森 祥陽

全国のみなさん！二〇〇七年の無防備地域運動は、京都府宇治市から始まります。宇治市在住のみなさんをはじめ、全国のみなさんのご支援をよろしくお願ひします。

歴史都市 宇治

始めに、少し宇治市の紹介をします。宇治市は京都府南部、南山城地域の中核都市です。人口約一九万人、有権者は約一五万人です。ちなみに、直接請求の法定数は約三千筆となります。宇治市は、千年近い歴史を誇り、世界遺産になっている平等院など、古（いにしえ）の文化や歴史を今に伝える建造物や史跡が数多く残る歴史都市です。また、源氏物語でも有名です。

二つの陸自基地のまち

しかし宇治市は、こうした誇るべき文化や歴史の対局にある、醜い姿をさらしている都市でもあります。

それは、市内に二つの陸上自衛隊基地が存在していることです。一つは、カンボジアへの出兵経験がある大久保駐屯地（施設部隊）であり、もう一つは、黄檗地域にある宇治駐屯地（関西補給処）です。いずれの基地も、非常に人口が密集している地域に存在しているのです。

宇治市のこうした状況は、国際人道法上の「軍民分離原則」にふれるものです。この状態を解消し、基地のない平和で文化あふれるまちづくりをめざすためにも、平和無防備都市条例を制定させる必要があります。

準備会から本格的取組へ さっそく協力申出に元氣

私は昨年の夏に、勢いで（実は真剣に考えて）宇治市で無防備運動に取り組むと、みんなの前で宣言しました。口に出すまでは、「本当にやれるのだろうか」と不安も感じていましたが、宣言してしまっただ後は気分すっ

きりで、「やるしかない」と具体的にいろんな事が考えられるようになってきました。

一月二月には、イラク子ども絵画写真展を宇治市内で開催し、相談会も重ねてきました。来る一月二十七日には、「宇治市民の会 結成準備会」を開催し、会結成にむけた本格的な取り組みを開始していきます。

準備会に向けて、これまでの運動に参加・協力していただいた方への案内や電話かけを行うと同時に、小倉町、大久保町、神明、木幡など、人口の多い地域を中心にチラシ入れを始めました。すると、さっそく「呼びかけ人になるよ」と高齢の女性から電話がかかってきました。今

日（1/22）の夕方さっそく自宅にお邪魔し、三〇分ほどお話をしてみました。みんな、今の危険な動きを何とかしたいと思っているのです。

支援・連帯をお願いします

安倍首相は、年頭の記者会見で「私の内閣で憲法改正をめざす」と明言しました。そして、七月の参議院選挙を「改憲を争点とする」と表明しています。一月九日には防衛省が発足し、自衛隊の海外派兵が本来任務とされました。さらには、七月以降のイラク特措法の再延長すらねらっています。歴史の流れも、国際世論も無視する安倍戦争推進内閣を一日も早く退場させなければなりません。宇治市の無防備運動は、まさに、安倍戦争推進・新憲法制定内閣と対決する重要な取り組みとなります。全力で頑張りますので、支援・連帯をお願いします。

*無防備地域宣言をめざす宇治市民の会（仮称）結成準備会

日時 一月二十七日（土）14:00～16:30
場所 ゆめりあうじ（JR宇治駅すぐ）

世界遺産：平等院（宇治市）

